

西牧地区 田園まちづくりニュース

まち歩きと、意見交換会を実施しました！

11/3(木・祝)に第2回西牧地区まちづくり協議会として、まち歩き&意見交換会を開催しました。朝9時に西牧公民館に集合し、西牧地区の歴史について学芸員の先生に講話をしていただいた後、わがまち再発見のためのまち歩きを行いました。西牧地区住民26人、市役所職員4人、コンサルタント3人が参加しました。

次回の西牧地区まちづくり協議会では、アンケート調査の結果のご報告と、西牧地区のまちづくりの構想について考えます。ご参加・ご協力をお願いします。



〈講演概要：西牧地区の歴史や文化財等について〉

(講師：加古川市文化財調査研究センター 宮本先生)

●西牧地域の歴史

- ・西牧は、かつて西の牧場として近隣の村の牛馬の牧養場であった。天正年間(1573-1592)の山崎落城の時より家屋が集まり、耕作が始まったとされている。
- ・縄文・弥生時代(～3世紀頃)の集落遺跡として西牧遺跡があり、その当時より人が住んでいたことがわかる。
- ・1646年頃の「正保郷帳」によると、村の米の収穫高が334石余りとあり、さらに1705年の「宝永2年村明細帳」には村の人数が427人とあることから、西牧は標準的な規模の集落であったことがわかる。
- ・昔から現代まで、集落の人数規模があまり変わらず続いていることは驚きである。

●西牧の文化財と遺跡

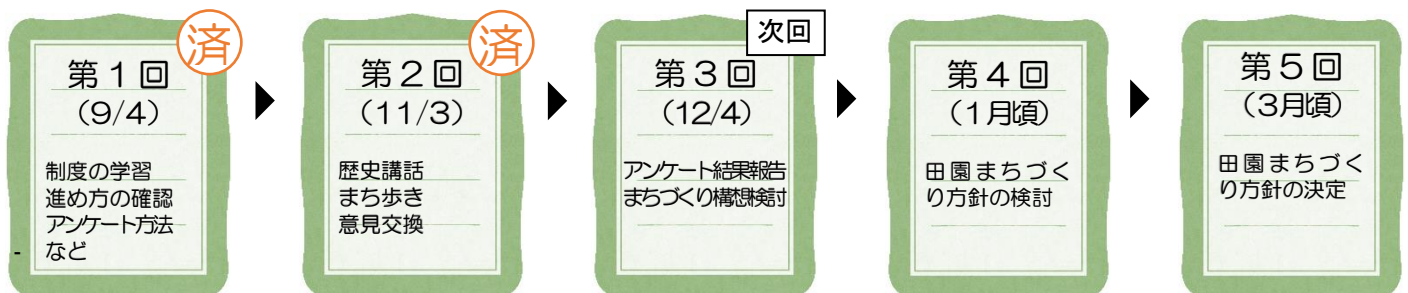
- ・西牧地区内には、国、県、市の指定文化財はない。その他の文化財として、「称徳寺の石棺(古墳時代の家形石棺の蓋)」が1基、藪ノ内地蔵堂の来迎弥陀笠塔婆2基がある。
- ・遺跡として、西牧遺跡(縄文・弥生時代の集落遺跡)がある。
- ・神社仏閣として、大歳神社、称徳寺がある。称徳寺は明応年間(1492-1501)に建立され、宝永2(1705)年に現在地に移転したと伝えられている。

●西牧の自然と地形

- ・西牧には大藤山のほか、ため池が多いのが特徴的である。



〈西牧地区まちづくり協議会 1年目のスケジュール〉



第1回アンケート調査の実施

ご協力ありがとうございました！

西牧地区を歩いて、見て、語り合い、 わがまちを再発見しました！

〈まち歩き〉

●ルート

西牧公民館→旧公会堂→犬立池→大蔵神社→辻堂池→藪ノ内地蔵堂→称徳寺→西牧公民館



犬立池



大蔵神社



辻堂池の桜並木



辻堂池



称徳寺

〈意見交換会〉

2班に分かれて意見を出し合いました。ご意見をいくつか紹介します。

【守り伝えたい所、お気に入りの場所など】

●歴史

- ・大蔵神社は「さいのきさん」と呼ばれ、歴史が深く、絵馬もある
- ・お地蔵さんで地蔵盆が行われている
- ・称徳寺は石棺の歴史がある
- ・大蔵神社には相撲場がある
- ・レンガづくりの紡績工場が残っている

●自然

- ・犬立池は蓮の花が咲いており、レンコンが採れる。
- ・犬立池には遊歩道が整備されている
- ・片山池は桜や蓮の花が咲き、明石海峡大橋も見れる
- ・辻堂池は桜並木がきれい、憩いの場となり、ゲートボール場としても利用されている
- ・奥の池からの景色が良い
- ・内海敬十郎さんの家に立派なクスノキが残っている

●地域の拠点

- ・現在の公民館は子どもの遊び場、選挙投票所と色んな使い方がされている

【良くない所、改善すべき所など】

●交通

- ・一時停止しない車があり、危ないと感じる道がある
- ・資源はあるが、案内しようにも道が狭い
- ・交差点での交通事故が多い
- ・お店が少なく、車の無い人は困る

●空き家・耕作放棄地

- ・維持管理がされていない空き家や田がある
- ・猪による獣害が多い

●歴史

- ・大蔵神社の灯籠が倒れそう、スズメバチがいる
- ・藪ノ内地蔵堂等の歴史資産の認知度が低い

●ゴミ

- ・池の周辺など、ゴミが不法投棄されている

●公園

- ・遊具が古くなっている
- ・雑草管理も大変である



アンケートへのご協力、ありがとうございました。

104 軒からご提出頂きました。

アンケートの集計結果は、第3回のまちづくり協議会で報告するほか、まちづくりニュースでもお知らせします。



次回の協議会は…

12月4日(日)10時～、公民館です。
ぜひ気軽にご参加ください！！

お問い合わせ

まちづくり協議会会長(

)まで

(電話:

- -)

(携帯:

- -)